

# ボーリング柱状図

調査名 川尻港海岸高潮老朽化対策緊急事業に伴う業務委託 (岩戸地区)

ボーリングNo. 5 1 3 2 2 5 6 4 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	広島県呉市川尻町岩戸			北緯	34° 13' 20.6312"			
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所			調査期間	平成28年10月19日～平成28年10月20日			東経	132° 41' 06.2458"		
調査業者名				主任技師				現代理人	コア 監定者		
ボーリング責任者				使用機種	東邦地下工機D-1型			ハンマー落用器具	半自動型		
エンジン				試験機	ヤンマーディーゼルNFD-12			ポンプ	東邦地下工機BG-3C		
孔口標高	CDL	5.24m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	
総掘進長	10.00m		度			向					

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室掘	
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値	深	試験名及び結果	深	試料採取番号		
1	3.74	1.50	1.50	埋土(粘土混り砂礫)	淡褐色	中位			礫はφ2~70mm程度である。マトリックスは砂質土で細粒分を含む。	10/20 2.00	1.15	2.12	4.8	10	16	30	1.15	P-1	○	物理
2				埋土(礫・玉石)	暗灰 & 淡褐色				φ100mm程度の玉石。裏込め石と思われる。2.10~2.40m付近、石間の砂を採取するが非常に細かい。	2.15	1	1	1	3	32	2.15	P-2	○		
3	1.94	1.80	3.30	埋土(砂混り礫)	褐色	中ぐらい & 緩い			礫はφ2~50mmまでで、碎石状である。砂は細~粗砂にて緩い。部分的に細粒分を多く含む。	10/21 3.90	3.65	4	4	3	11	30	3.65	P-3	○	物理
4	0.34	1.60	4.90	シルト混り砂質砂	暗灰	中ぐらい & 緩い			細~粗砂にて、中~粗砂主体である。細礫を混入する。貝殻片及び有機物を含む。砂は細~粗砂にて中砂主体。5m付近、粘土分多い。	4.15	4	2	3	9	30	4.15	P-4	○	物理	
5				砂礫	暗灰 & 淡褐色	密な			礫はφ2~70mm程度である。砂は細~粗砂にて中~粗砂主体である。	5.15	2	1	3	6	30	5.15	P-5	○	物理	
6	-1.26	1.60	6.50	礫質砂	淡褐色	非常に密な			砂は細~粗砂にて中~粗砂主体である。礫はφ2~40mm程度を混入する。玉石φ100~120mmが存在する。礫はφ2~70mm程度である。砂は細~粗砂にて中~粗砂を主体とする。	6.45	6.15	3	3	7	13	6.45	P-6	○	物理	
7	-2.76	1.50	8.00	玉石混り砂礫	淡褐色	非常に密な			砂は細~粗砂にて中~粗砂主体である。礫はφ2~70mm程度である。砂は細~粗砂にて中~粗砂を主体とする。	7.15	10	11	11	32	30	7.15	P-7	○	物理	
8	-3.56	0.80	8.80	風化花崗岩	淡褐色	非常に密な			9.35~9.45m付近、暗褐色の部分有り。全般的に、風化激しく、指圧で潰れ砂状となる。	8.15	11	10	11	32	30	8.15	P-8	○	物理	
9	-4.46	0.90	9.70							9.45	11	10	14	35	30	9.15	P-9	○		
10	-4.76	0.30	10.00							10.15	22	28	50	20	50以上	10.15	P-10	○		
11										10.35						10.35				